

PINE-NET

誕生!!

衛星から高速専用インターネットへ

メディア授業の利便性向上を図るPINE-NET

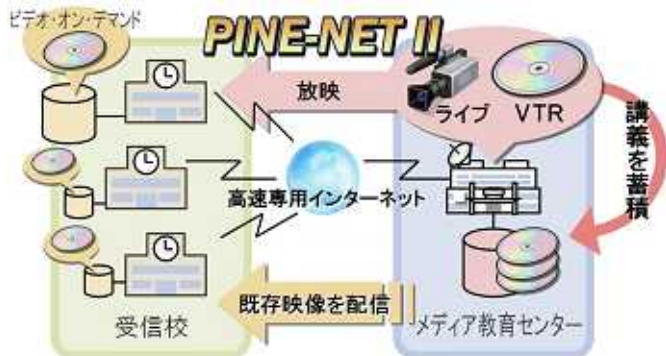
1991年から通信衛星を用いて運用を続けてきた「PINE-NET」は、SCCがシステム構築した高速専用インターネットを利用する新しい遠隔教育システム「PINE-NET」として、当社グループの北海道情報技術研究所から電子開発学園10校をはじめ全国15ヶ所の受信拠点に向けて、2008年9月から運用を開始しました。

なお、「PINE-NET」では、専門学校向けメディア授業と北海道情報大学通信教育部向けメディア授業をライブで放映しています。



PINE-NET とは

PINE-NET は、高速専用インターネットを高等専門教育に使用した遠隔教育システムです。



従来のPINE-NETで実施していたライブ形式のメディア授業に加え、VOD（ビデオ・オン・デマンド）機能や、受講者からの質問を受けたりアンケートを集計する双方向機能などを備えた、利便性の高い教育システムです。

この新しいメディア授業は、北海道技術研究所内にある「メディア教育センター（北海道江別市）」のスタジオから、専門学校向け、北海道情報大学通信教育部向けの高品質な講義映像として、全国の電子開発学園 専門学校（北海道情報大学教育センター）で受講することができます。

また、SCS()にも接続しており、内容・提供方法ともに時代に適応した質の高い教育を実現しています。



メディア教育センターの講義スタジオ

SCS(Space Collaboration System)スペースコラボレーションシステム

全国の国公私立大学が運営する衛星通信による相互講義受講システムです。全国の大学・大学共同利用施設と研究会、会議、講義の交換を行ったり、通信制の大学コースや北海道大学や他大学の授業を受けることも可能です。

PINE-NET の主な特徴

高速専用インターネットの利用

高速専用インターネットにより、安定かつ鮮明なライブ形式のメディア授業を受講可能

マルチベンダーの技術を結集

システム構築には複数のベンダー企業が参画し、各々の技術を結集することで、国内最高品質の遠隔教育システムが完成



ベンダーの技術が結集された映像送信設備

ハイビジョン放映対応

ハイビジョン放映に対応したことにより、精細な映像による効果的なコンテンツを提示



ハイビジョン放映に対応したスタジオ設備

ビデオ・オン・デマンド機能

受信校で自由な時間にメディア授業の受講が可能で、学生も予習・復習で個別に視聴が可能

eラーニング利用

一斉授業の中でeラーニングによる個別学習が可能で、放課後や自宅でもeラーニングが利用できる

双方向機能の強化

受信教室とスタジオの講師を結ぶ双方向機能（レスポンスアナライザ、TV電話など）を、より高精度で実現

[関連情報]

PINE-NET

北海道情報技術研究所

電子開発学園

北海道情報大学通信教育部

<http://www.edc.ac.jp/contents/enkaku.html>

<http://www.hiit.co.jp/>

<http://www.edc.ac.jp/>

<http://www.do-johodai.ac.jp/tsushin/index.html>